

子育て世代のまちづくりおしゃべりカフェ (第3回浪江駅周辺整備事業に関するワークショップ)

-開催結果報告-

1. 開催概要

開催日時: 令和5年12月17日 午前10時00分～

開催場所: 権現堂集会所

ワークショップ参加者: 浪江町民17名(うち、お子様9名)

2. ワークショップ

テーマ: 新しくできる浪江駅周辺の「使い方」や「活かし方」などについて考えよう!

3. ワークショップでの意見

(1) 新しくできる浪江駅周辺について、感じることや使い方、あったら良い機能

・この地区を初めて見た印象としては、“大人向け”のイメージ。子供目線からすると、この地区は横長なので広すぎるし、歩くには長すぎる。親目線からしても、子供の目の届かない範囲になるので、端から端まで利用することはないだろう。

Ex:アーバンスポーツパークを利用する場合、いこいの広場より駅寄りを利用しない。商業施設や芝生広場を利用する場合は、アーバンスポーツパークには行かない。

・利用する場所の目の前に駐車場が欲しい。

Ex:子ども広場を利用する場合、駐車場まで遠いので、すぐ横に駐車場が欲しい。

・イベント利用の際の活用方法はあるかもしれないが、浪江町民が「日々利用したくなる」や「子育てしたくなる」ような視点で使い方や活かし方も検討してほしい。

・中学生が放課後勉強したり、ゲームしたり、おしゃべりするような居場所があると良い。また、親の仕事が終わる7,8時ごろ迎えに行けるように、夜遅くまで営業してほしい。(町内では、そのような居場所が少なく、中学生たちは海まで歩いて居場所を探している。また、休日は南相馬やいわきへ出て行ってしまふ。)